

活用例②

～教科別の指導(数学) ある高等学園の例～

ある高等学園では、このような年間指導計画が作成されていました。
生徒の実態に合わせてStepに沿って調整・見直しをして、学習活動を設定していきましょう。

調整・見直し前の年間指導計画

Step 1

年間指導計画等で必要事項を確認しましたか？



【指導の形態】 教科別の指導 数学	【単元(題材)名】 グラフを読み取ろう	【時数】 4時間	
【指導の期間】 5月～6月	【学部・学年】 高等学園3学年		
【単元(題材)の目標】			
<ul style="list-style-type: none"> ・数量の関係を割合で捉え、円グラフや帯グラフで表すことができる。[知識及び技能] ・データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して読み取ることができる。[思考力、判断力、表現力等] ・データの活用において、見通しを持ちながらデータを収集、グラフの選択をしようとする。「学びに向かう力、人間性等」 			
【単元(題材)の計画】			
【時数】	【主な学習活動】(指導内容・方法)	【指導体制】	各教科の目標及び内容
1時間	1. オリエンテーション ・学習の目的及び内容について知る。	一斉指導	Step 3 各教科の目標及び内容(育成を目指す資質・能力)の段階は生徒の実態に合っていますか？
1時間	2. 様々なグラフについて知る。 ・簡単な表 ・棒グラフ ・折れ線グラフ ・円グラフ ・帯グラフ	一斉指導	
2時間	3. それぞれのグラフを読み取る。	一斉指導	
Step 2・4 「学んだことを生かしている姿」につながる学習活動となっていますか？			
Step 5 全員が十分に学べる集団の学習活動になっていますか？			